



図書館だより

宇都宮市立陽北中学校
令和4年 11月号



朝晩が寒くなり日中との温度差があります。風邪をひかないように気をつけましょう。また、日没も早くなりました。秋の夜長、読書を楽しんでください。先生方のおすすめ本もぜひ借りてください。



学級文庫を利用してください!



各クラスに学級文庫を置きました。本を読みたい時にすぐに手に取れるようにしました。図書委員もとても熱心に選んでくれました。朝の活動や休み時間などに利用してください。



<お願い>

★自教室だけでの利用となります。持ち帰らないでください。

★学級文庫の本は全て図書館の本です。個人で借りた本と同様、大切に扱ってください。



先生方のおすすめ本を紹介します!



図書館にコーナーを作りました。

**陽北 Library にも載せました! 「予約フォーム」で予約することもできます!
用意ができましたら、教室まで届けます。ぜひ、読んでください!**

島田洋暁先生 『タルト・タタンの夢』 近藤 史恵/著 東京創元社 913/コ



「レストラン好き」「お料理好き」の人におすすめします。短編集で、最後に「なぜなのか?」の謎を解いて終わります。おもしろいと思ったら続編もあります。

甲賀健一郎先生 『かみはこんなにくちゃくちゃだけど』 ヨシタケ シンスケ/著
白水社 絵本/ヨ



見開き2コマ構成のお話?です。右から左、左から右に読むと、それぞれ少しだけちがった印象になり、大切なことに気付きます。

宇賀神智之先生 『親と子のこころバレー塾』 小田 正道/著 浪速社 783/才



私は、女子バレーボール部の顧問を長年させていただいていますが、「バイブル」的な本です。

北条和寿先生 『よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑』
大野 萌子/著 サンマーク出版 361/オ



日常何気なく使っている言葉。何気なく返答している言葉。それって本当に大丈夫かな？同じ意味あいでも相手にとって気持ちのよい、自分にとっても損のないコミュニケーションの方がいいですよね？そのヒントを与えてくれる本です。日常の「あるある」にちょっと目を向けてみてください。

田崎真里先生 『もうぬげない』 ヨシタケ シンスケ/著 ブロンズ新社 絵本/ヨ



大人でも「クスッ」と笑ってしまうような、お茶目な主人公が登場するお話です。まさかの結末にほっこりするのです、ぜひ読んでみてください。

赤羽春花先生 『反応しない練習』 草薙 龍瞬/著 KADOKAWA (購入予定)



みんなが抱えている色々な悩みを、どのような考え方をもって解決していけばよいのかということを教えてもらえる本です。この本を読むと、モヤモヤした気持ちが少し軽くなって、前向きになれるので、ぜひ読んでみてほしいです。

大橋正寛先生 『わけあって絶滅しました。』 丸山 貴史/著 ダイヤモンド社 48/マ



残念ながら諸事情あって絶滅してしまった生きものたちの声をインタビュー形式(?)でご紹介する本です。なるほどーと思うことを、やたらおもしろく書いてあって、ただただおもしろい。「生きる」ということについて思っているより考えさせられる本です。どこかの博物館でイベントをやるほど人気(?)の本です。

遠藤暢先生 『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン/著 新潮社 491/ハ



日常生活では、欠かすことのできない「スマホ」。そのスマホの危険性について、脳科学の視点から書かれています。あなたの脳は・・・。

鈴木健介先生 『未来を拓く君たちへ なぜ、我々は「志」を抱いて生きるのか』
田坂 広志/著 PHP 研究所 159/夕



人は必ず死ぬという大前提の下、「生きる」ことにおける「志」を持つことの重要性を説く本。志を持つ理由は5つ。

- ① 悔いのない人生を生きるため
- ② 満たされた人生を生きるため
- ③ 香りある人生を生きるため
- ④ 大いなる人生を生きるため
- ⑤ 成長し続ける人生を生きるため

いかに一瞬一瞬を大事に、人生を大切にするかを説いている本。

秋場有美子先生 『給食のおにいさん』 遠藤 彩見/著 幻冬舎 913/工



有名料理店のシェフだった主人公佐々目が小学校の給食調理員として働くことに。レストランと大量調理である給食との違いにとまどいながら、少しずつ仕事にやりがいを感じ、人としても成長していく物語です。

給食が好きな人も嫌いな人も給食の裏側をのぞいてみませんか？